
記事

[Mihoko Iijima](#) · 2020年12月7日 2m read

SELECT ... FOR UPDATE を使用できるかどうか

これは、InterSystems FAQサイトの記事です。

SELECT ... FOR UPDATE は明示的な行ロック取得の方法として多くの RDBMS で実装されているため、この機能を使われているケースも多いと思います。

このシンタックスは InterSystems 製品ではエラーにはなりませんが、期待されるような行ロックの取得は行われません。

この記事では同等の機能を実現する方法をご紹介します。

```
DECLARE CURSOR C1 IS
SELECT Name FROM Person WHERE Name LIKE 'A%' FOR UPDATE
OPEN C1
LOOP FETCH C1 INTO name
... name ???
... ???LOOP?EXIT
END LOOP
CLOSE C1
```

上記のようなSQL文は、下記のSQL文で代替可能です。

下記2行目のUPDATE文の実行により対象行に対して排他ロックがかかるため、他DBの動作と異なる点ご注意ください。

```
&SQL(START TRANSACTION ISOLATION LEVEL READ COMMITTED)
&SQL(UPDATE Person SET ID=ID Where Name like 'A%')
&SQL(DECLARE C1 CURSOR FOR SELECT ID,Name into :id,:name FROM Person Where Name like 'A%')
&SQL(OPEN C1)
&SQL(FETCH C1)
While (SQLCODE = 0) {
    Write id, ": ", name,! &SQL(FETCH C1)
}
&SQL(CLOSE C1)&SQL(COMMIT)
```

メモ : &SQL() は、埋め込み SQL と呼び、サーバ側ロジックに SQL 文を埋め込みたい場合に利用できる記述方法です。詳細は[ドキュメント](#)をご参照ください。

[#SQL](#) [#ヒントとコツ](#) [#Caché](#) [#Ensemble](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#)

[%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%82%8B%E3%81%8B%E3%81%A9%E3%81%86%E3%81%8B](#)